

# WEEKLY REPORT

例会日 木曜日 12:30~13:30  
例会場 上野精養軒 TEL.03 (3821) 2181  
事務所 〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-1-5 Aビル6F  
TEL.03 (5637) 4602 FAX.03 (5637) 4611  
http://www.tokyo-kohoku-rc.org



葛飾北斎描く千住より眺望の富士

## 東京江北ロータリークラブ

会長 守屋裕之 / 会長エレクト 渡邊浩  
幹事 高橋史郎 / 副幹事 影山幸一郎  
会報・IT委員長 松井元



「ロータリーの寛容の精神で。  
奉仕をしよう。」

**Rotary**  
**Opens Opportunities**

RC会長  
守屋 裕之

RI会長  
ホルガー・クナーク

第 2903 回 2020 年 9 月 3 日

Rotary Rate 106 円

### 2020 年 8 月 27 日 第 2902 回例会報告 ガバナー公式訪問 / クラブ協議会

点 鐘

ロータリーソング 「日も風も星も」

来 賓

- ゲスト  
野生司義光氏 (ガバナー / 東京小石川)  
高橋映治氏 (地区副幹事 / 東京臨海)  
廣田健史氏 (ガバナー補佐 / 東京向島)  
田崎和則氏 (分区幹事 / 東京向島)

- ビジター  
なし

セ レ モ ニ ー

- ロータリー財団寄付…佐藤徹君  
…田中清介君  
…守屋裕之君  
…影山幸一郎君  
…人見真吾君  
…松井元君  
…海老沼孝二君  
…追分義郎君
- 米山特別寄付…海老沼孝二君  
…伊藤隆君  
…追分義郎君  
…長谷正一君  
…高橋史郎君  
…鈴木又右衛門君
- クラブ基金寄付…今井太郎君  
…渡邊浩君
- あいあい基金寄付…田中清介君

### 会 長 報 告

- 小薬将夫会員が 8 月 11 日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
- WHOがアフリカ地域の全 47 カ国において野生型ポリオウイルスの伝播が正式に断ち切られたことを 8 月 25 日に発表しました。これは、ロータリーが最優先事項として掲げてきたポリオの世界的根絶に向けた、歴史的かつ重要な前進となります。
- 来週の例会は、「足立区内子ども食堂への支援」活動を協力して頂く NPO 担当者と足立区担当職員が卓話を行います。

### 幹 事 報 告

- 小薬将夫会員のご葬儀はご家族で執り行われました。献花台が 9 月 25 日迄、小薬会員の会社に設置されております。
- 次週 9 月 3 日の例会終了後 13 時 40 分より、第 3 回理事会を行います。

### 委 員 会 報 告

- なし

出 席 報 告 会員 50 名中 41 名 出席率 82%  
前々回の出席率 86%

## ニコニコ (●^o^●) ボックス

- 40年100%祝 …鈴木敏男君
- 会員お誕生日祝 …小林君 石渡君 …人見君
- 守屋会長 高橋幹事…野生司ガバナー、高橋地区副幹事、廣田ガバナー補佐、田崎分区幹事、ようこそお越し下さいました。  
会員の皆様、本日のクラブ協議会、例会、よろしく願い致します。野生司ガバナーの卓話を楽しみにしています。宜しく願い致します。
- 佐藤(徹)君 海老沼君 樽澤君 戸塚君 芝君 畠山君 小林君 羅山君ベルマン君 張替君 追分君 今井君 平岩君…野生司ガバナー、高橋地区副幹事、廣田ガバナー補佐、田崎分区幹事、ようこそいらっしゃいました。本日は宜しくご指導お願い致します。
- 田中(清)君…国から戴いた特別給付金、大事なお金ですので、ロータリー財団とあいあい特別委員会へツツシンデ寄付させていただきます。
- 長谷君…今年全日本指導者協会のセミファイナル7名の中に一人、教え子が残りました。今週から日本音楽コンクールが始まります。皆様に良いご報告が出来るように頑張ります。

合計 53,000 円 累計 787,000 円

## 卓 話



8月27日の卓話は、第2580地区ガバナー野生司義光より「ガバナー公式訪問卓話」という演題でお話いただきました。



今年の1月に米国サンディエゴで開催されたロータリー国際協議会について、また2020年-21年度のRI会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」のビジョンについて、第2580地区目標「ロータリーを楽しんで仲間を増やす」を実現する為に、退会防止、会員増強、公共イメージの向上や、ロータリーデーの開催を挙げられました。また、会員データの整備とマイロータリーの登録、ロータリー財団、ロータリー米山記念奨学会への寄付の協力依頼がありました。

## 第2回 クラブ協議会



本日は、ガバナーをお迎えして第2回クラブ協議会を上野精養軒 藤の間で開催しました。本年度はクラブ奉仕会 渡邊委員長(会長エレクト)、職業奉仕委員会 羅山委員長、社会奉仕委員会 影山副幹事、国際奉仕委員会 長谷委員長、青少年奉仕委員会 人見委員長、



会員増強委員会 小林委員長(直前会長)が今年度の東京江北ロータリークラブ活動方針、活動計画を発表しました。ガバナーからは講評、ガバナー補佐よりご挨拶をいただきました。司会は例年通り幹事が務めました。

### 本日の卓話

「足立区の地域活動と子どもの現状」  
足立区NPO活動支援センター長  
渡部 岳氏  
紹介者 社会奉仕委員長 鎌田君

### 次週の卓話 9/10

「私の古典マジック(和妻)との出会いと魅力について」  
和妻師 北海翼氏  
紹介者 土屋君

## ガバナー公式訪問

国際協議会報告と2020-21年度活動方針

■2020-21年度ロータリーテーマ



2020-21年度 国際ロータリー会長のホルガー・クナーク氏は、2020-21年度テーマを「ロータリーは機会の扉を開く」と発表しました。

“ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、「無限の機会への招待」である。

私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています。奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものである。奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーである。“と力説されました。

このマークは誇りのシンボル歯車のロータリーゴールド、ローターアクターを示すクランベリーレッド、ロータリアンのロイヤルブルーで構成されています。

私たちもこのテーマをもってこの1年活動していきましょう。

例年、地区テーマを掲げますが、私は、「ロータリーは機会の扉を開く」をそのまま地区のテーマとし、活動していきたいと思います。

### ■ビジョン声明

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」というビジョン声明と

- ・ より大きなインパクトをもたらす
- ・ 参加者の基盤を広げる
- ・ 参加者の積極的なかわりを促す
- ・ 適応力を高める

という4つの行動計画を再認識し、ビジョン実現に取り組んでいきましょう。

### ■2020-21年度地区活動方針

#### 1. 会員増強

会員数の減少を止めることはわが地区の大きな課題ですが、実態はつかめているでしょうか？日本のなかで、わが地区は人口1万人当たりロータリアンの人数が最低、という事実をご存知でしょうか？なぜ、会員増強なのでしょう？会員が増えることで、達成できる目標があります。まずは、自分たちのクラブの実態を把握し、分析することが必要です。そして、そのためには、会員のデータを整備し、各人がMy Rotaryに登録することで、簡単にクラブの状況が見えるようになります。皆様にも、ぜひとも登録をおねがしたい。まずは、ロータリーのページにアクセスするという行動をとっていただきたい、と考えています。

#### 2. 公共イメージの向上

そのうえで、公共イメージ向上に取り組み、広く、会員でない方に「ロータリー」を認知してもらうことが仲間を増やすことにつながると考えています。公共イメージ向上は、地域とつながることであり、すでに各クラブでは社会奉仕活動として、地域のお祭りに参加したり、バザーを開催したり、青少年の活動を応援しているところも多いと思います。新聞やテレビ、自治体の広報に載せてもらう、露出し、認知してもらうようにしていきましょう。また、そのためにも、ロータリーのロゴやカラーなどブランドリソースを大いに活用しましょう。

#### 3. ロータリーデーの開催

すでに、各クラブで祭りやバザーなどに参加していることでしょう。さらに、分区ごとでロータリーデーが開催できれば、より大きなインパクトにつながることでしょう。閉鎖的な「仲良しクラブ」ではなく、行動するクラブに変わっていきましょう。

### ■行動計画

#### 1. 分區別クラブ活性化セミナーの開催

分區別クラブ活性化セミナーはガバナー補佐の方々を中心に分區別会長幹事会時に行ってください。公共イメージの向上、会員増強、ロータリーデーへとつなげるようにしていきたいと考えています。

#### 2. 会員データの整備とMy Rotaryの登録推進

2020年5月末までに登録していきましょう。

#### 3. 奉仕活動情報交換研究会の開催

また、今年度新たに奉仕プロジェクトグループを設けました。すでにRIでは奉仕委員会を奉仕プロジェクトグループに統合させ、一体で運営するようになってきています。第2580地区でも今回、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の3委員会合同での奉仕活動情報交換研究会を発足させ、情報共有を図ることとしています。

日本のロータリーが100周年を迎える今年、一緒に機会の扉を開いていきましょう。

## 御礼状

2020年8月27日

東京江北ロータリークラブ御中

国際ロータリー第2580地区  
ガバナー 野生司 義光  
地区副幹事 高橋 映治

謹啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
貴クラブへの公式訪問に際しましては、会長・幹事をはじめ会員の皆様に歓迎いただきまして、誠にありがとうございました。

新型コロナウイルスが心配な状況の中、またご多忙の皆様にご貴重なお時間をいただき、貴クラブの活動状況をお聞きすることができました。心より感謝申し上げます。

今年度のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」をご理解いただき、会員の皆様が楽しくロータリー活動に励まれますことを願っております。貴クラブのますますのご発展と会員の皆様のご活躍を祈念して、お礼のご挨拶とさせていただきます。

謹白



世界保健機関（WHO）は、8月25日、WHO アフリカ地域の全47カ国において野生型ポリオウイルスの伝播が正式に断ち切られたことを発表しました。これはロータリーが最優先事項として掲げてきたポリオの世界的根絶に向けた、歴史的かつ重要な前進となります。

アフリカ地域での数十年にわたる懸命な努力によるこの勝利を受け、ロータリーと世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）のパートナー団体（米国疾病対策センター〔CDC〕、UNICEF〔国連児童基金〕、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、Gavi ワクチンアライアンス）は、この公衆衛生上の達成を称え、強いコミットメント、連携、粘り強さがあれば世界からポリオを根絶できることの証であると述べました。

アフリカ地域の野生型ポリオ根絶の認定は、独立したアフリカ地域認定委員会（ARCC）が現地で徹底した検証を行った上で行われました。同委員会は、新規症例がないことを確認し、さらにポリオの監視・予防接種・検査の能力についてカメルーン、中央アフリカ共和国、ナイジェリア、南スーダンから提出された文書の分析も行いました（同地域の他43カ国からの文書は既に委員会が受理）。

アフリカ地域の野生型ウイルスによるポリオの最後の症例は、2016年8月、2年間の無症例期間の後、ナイジェリア北部のボルノ州で記録されたものでした。紛争や人口移動といった課題が、現地の子どもへの予防接種を阻む要因となっていました。

アフリカ地域で野生型ポリオウイルスが根絶された今、世界人口の90%以上を占めるWHOの6地域のうち、5地域でポリオが根絶されたこととなります。WHOの東地中海地域に含まれるアフガニスタンとパキスタンでは、現在も野生型ウイルスによるポリオの感染が続いています。

アフリカ地域の野生型ポリオ根絶の認定は、ライブストリームイベントで行われました。イベントには、ナイジェリアのムハンマド・ブハリ大統領、ビル・ゲイツ氏、国際ロータリー会長のホルガー・クナーク氏、ナイジェリア・ポリオプラス委員長のツンジ・フンショ氏、そのほかのGPEIパートナー団体の代表らが出席し、スピーチを行いました。祝賀イベント後には、記者会見が開かれました。

クナーク氏は、新型コロナウイルス流行の中で人びとは良いニュースを必要としている、と述べました。今後も大きな課題が残されていることに言及した上で、「だからこそ、この大きな成果を認め、この快挙を実現するまでに重要な役割を果たしたすべての人を称賛しなければなりません。長年の努力があったからこそ、ここに至ることができたのです」と語りました。

#### 数十年にわたる取り組みの成果

アフリカで野生型ポリオウイルスが検知されていないことは、1996年の状況を考えると極めて大きな進展と言えます。

同地域では、1996年に75,000人の子どもがポリオによるまひを患っていました。その年、カメルーンで開かれたアフリカ統一機構の会議で、アフリカ各国の首脳がポリオを同大陸から根絶することを誓いました。

その同じ年、この取り組みを強化するため、ロータリー、GPEIパートナー団体、南アフリカのネルソン・マンデラ大統領（当時）が、アフリカでのポリオ根絶をめざす「Kick Polio Out of Africa」キャンペーンを開始。サッカーの試合や有名人の起用を通じてポリオへの認識向上を図り、アフリカの30カ国以上が初の全国予防接種日を開催しました。マンデラ氏の呼びかけにアフリカ諸国のリーダーが応え、すべての子どもにポリオワクチンを投与する取り組みが開始されたのです。

1996年以来、アフリカだけでなく世界中の無数のロータリー会員が、資金を募り、子どもたちにワクチンを投与し、予防接種を呼びかけ、GPEIによる症例への対応を支えてきました。90億服以上の経口ポリオワクチンが投与され、アフリカ地域で推定180万人のまひ症例を防いできました。同地域では毎年、2億2000万人が子どもが数回のポリオ予防接種を受けられるように、約200万人のボランティアが活動しています。

同地域のポリオ根絶に対するロータリー会員からのこれまでの寄付は、約8億9000万ドルに上ります。この資金は、ポリオのサーベイランス（監視）、ワクチンや人員の輸送、認識向上キャンペーン、全国予防接種日のためにロータリーがポリオプラス補助金を支給するのを可能としてきました。

ロータリーのナイジェリア・ポリオプラス委員長であるツンジ・フンショ氏は、アフリカでのポリオ根絶活動におけるロータリアンの多大な貢献について、次のように述べています。「資金調達、子どもへの予防接種、石鹼や健康キットの提供など、ロータリー会員は、ポリオ根絶という最優先目標を達成するために粘り強さと固い決意を示してきました」

ロータリー会員が構築を支えてきた広範なポリオのインフラは、新型コロナウイルスと2014年のエボラ危機への対応、および黄熱病や鳥インフルエンザから地域社会を守るためにも活用されてきました。

#### 残された課題

GPEIの現時点での課題は、ポリオの感染が途絶えたことのないアフガニスタンとパキスタンの2カ国における野生型ポリオウイルスの根絶です。アフリカでも引き続き、野生型ポリオウイルスが戻らないように、またワクチン由来のポリオウイルスから子どもを守るために、日常的な予防接種を強化する必要があります。ワクチン由来ウイルスによる症例はまれですが、アフリカの一部地域で症例が確認されています。

ポリオを根絶するには、質の高い予防接種キャンペーンを引き続き優先して展開しなければなりません。新型コロナウイルスの流行中も、子どもへのポリオ予防接種を行いつつ、医療従事者を新型コロナウイルスから守り、感染拡大につながらないようにする必要があります。

世界の保健関係者や専門家は、アフリカだけでなく「世界からポリオを根絶する」という最終目標を達成するには、今後も資金調達とアドボカシーを維持していくことが重要であると述べています。この目的のために、ロータリー会員は引き続き重要な役割を担っています。

クナーク氏はこう述べます。「今回の快挙はポリオのない世界に向けた大きな一歩です、しかし、闘いはまだ終わっていません。世界のポリオ根絶を実現するには、ロータリー会員と寄付者からの支援、そして医療従事者による懸命な努力が必要とされます」